



# 三国中学校だより

【校訓】誠心 自主 創造

— 自ら想像し、考え、行動する生徒の育成—

合言葉：進取果敢



小郡市立三国中学校

第 20 号

令和7年12月11日発行

文責 校長 米倉佳美

## 3年生 面接講話を実施しました ~入試に向けて、面接の心構えや実践を学ぶ~

11月25日（火）に、3年生を対象に「面接講話」を実施しました。今回は、九州産業高等学校より先生と生徒の皆さんをゲストティーチャーとしてお招きし、高校入試における面接の心構えや実際の受け方について、貴重なお話をいただきました。

講話では、面接時の基本的なマナーや、第一印象の大切さ、受け答えのポイントなど、実際の面接官の視点から具体的なアドバイスをいただきました。「ノックは3回、ノックの音からもその人の人柄を感じ取れる」「面接室に入った時の第一声が声の大きさを決める」など、実際の面接をイメージできる内容で、生徒たちにとって大変有意義な時間となりました。

これから本格的に進路決定の時期を迎える3年生にとって、今回の講話は大きな学びとなったことと思います。今後も、生徒一人ひとりが自分の進路に自信をもって臨めるよう、学校全体でしっかりと支援してまいります。

## 2年生 修学旅行説明会を開催しました! 『ピース ~繋がる心、広がる笑顔~』

11月25日（火）に、2年生を対象に修学旅行説明会を開催しました。今年度の修学旅行のスローガンは、『ピース ~繋がる心、広がる笑顔~』です。修学旅行という大きな絵を完成させるために、個性を認め合い繋がり合い、みんなが明るい気持ちで修学旅行に臨むことができるようにとの願いが込められています。

今回の修学旅行では、「班別自主研修」を大きな取組の一つとしています。訪問コースの決定、行程表の作成、目的地に関する調べ学習の際には生成 AI を活用し、得られた情報をもとに学習活動を進めていきます。保護者の皆様には、修学旅行における生成 AI 活用について、同意に関する回答へのご協力有難うございました。

みんなで一つの計画を作り上げていく中では、意見がぶつかることもあるかもしれません。そんな時こそ、仲間の考えに耳を傾け、自分の意見を伝えながら進めてほしいと思っています。

保護者の皆様には、事前の準備や健康管理などでご協力をお願いすることもございますが、どうかこの「成長の旅」を温かく見守っていただければ幸いです。私たち教職員も、安心・安全を第一に、子どもたちが多くの学びと感動を得られるよう、しっかりと支えてまいります。お忙しい中ご参加いただいた保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

## 「社会を明るくする運動」作文コンテスト結果 ～表彰式に参加しました～

12月10日(水)に、小郡市役所で、「社会を明るくする運動」作文コンテストの表彰式が行われました。本校から、1年生の さん、

さん、 さんの3名が出席し、最優秀賞の さんが表彰者代表として作文を朗読しました。作文には、日常の中で感じた思いや、よりよい社会を築くために自分にできることが真摯に綴られており、心に深く響く内容でした。代表として朗読する姿もとても立派でした。

入賞したみなさんを右に紹介します。心からの拍手を送りたいと思います。

【最優秀賞】	1年	さん
【奨励賞】	1年	さん
	1年	さん



## SNS等利用に関するお願い

いよいよ子どもたちが楽しみにしている冬休みが近づいてまいりました。長期休暇は、家族との時間やリフレッシュの機会となる一方で、生活リズムの乱れやインターネット・SNSの利用時間が増える時期でもあります。

昨今、新聞やニュース等でも話題となっていますが、生徒がSNSに画像や動画を流出させたり、インターネット上の有害な情報に接続して事件に巻き込まれたり、ブログ等に誹謗中傷を書き込んだりするなど、生徒が被害者にも加害者になるケースが発生しています。また、携帯電話等の使用に多くの時間や費用を浪費したり、携帯電話等への依存の状況が顕著になったりしている状況があります。

三国中でも11月中旬頃にSNSの利用に関する注意喚起を行いました。冬休みを目前にしたこの機会に、お子さまと適切な使用について再度ご確認ください。なお、お子様に以下のような行動が見られるときには十分に注意を払っていただきますようお願いいたします。

- ◆ 出会い系サイト等を含む有害サイトへアクセスしていることが確認されたり、携帯電話等のデータ通信料が急に増えたりしている。
- ◆ SNS等を利用して、様々な人とメッセージのやり取りをしている。
- ◆ 携帯電話等によるヒソヒソ話や長電話が多くなったり、保護者が近づくと電話を切ったりしている。
- ◆ いろいろな理由をつけ、深夜の外出や外泊等をするようになる。
- ◆ 高額な現金や小遣いで買える限度を超えた物品を所持している。
- ◆ 携帯電話等の着信を常に気にしたり、インターネットの使用時間が日常生活に影響するようになったりしている。

## 子どもたちに多いトラブル



### ケース1:間接的な情報の組み合わせが、個人情報に。

本名や電話番号だけでなく、お子さんのお友だちや家族の話と、学校や地域特有の話のような間接的な情報を組み合わせることによって個人が特定され、トラブルに巻き込まれるケースが増えています。



### ケース2:表現のつたなさから誤解が生じ、いじめへ。

顔の見えない、インターネット上のコミュニケーションは大人でも難しいものです。表現のつたなさや誤解を招く表現によるトラブルが、いじめに発展するケースも少なくありません。



### ケース3:いたずら? 武勇伝? 止まることを知らない炎上行為。

ちょっとした出来心で書き込んだ文章や投稿した写真が、ネット上で注目を集め、取り返しがつかなくなるケースが後を絶ちません。インターネットに公開した情報は、すべてを消し去ることは決まてできません。